

創業者の思い（昭和 53 年 10 月吉日創業）

私は、昭和 25 年 5 月 6 日に、水田と畑の両方で 4ha を有する農家の長男として生まれました。

当時は、この地方の農家の長男として生まれた人は、当然、先祖代々続く農業と言う職業を次いで行くと言う暗黙のしきたりがありました。

ですから、一度勉学の為、この地を離れたましたが、その後すぐに両親の待つ、この生まれ故郷に戻り、父母と共に農業をしておりました。

しかし、現実の農業経営が、どれほど厳しいものかわからず就農してしまい、水田は、人手不足の為、雑草除去に手が回らず、常に雑草の除去にばかり手を費やしておりました。

毎日、田んぼや畑が雑草ばかり生育が良く、常に雑草との戦いでした。

そして、夜になると、「俺は、どうして、こんな所に来てしまったんだろう」と言う、強い思いが込み上げて来て、泣いてばかりいました。

そんな日々を長く送っていましたが、ある日、私は知人の紹介で、近所の親切な薬局屋の店主に出会いました。

そこで、私は、「これこれと、雑草の除去に困っている」と言う話をしました。

そうしたら、何と、その店主の方は、「石井さん、そんなに困っているんだったら、これを使ってみなさいよ」と、ある除草剤を紹介してくれました。

これを聞いて、早速、私は、それを購入し、早速水田に、それを散布しました。

「そうしたら、何と言う事でしょう」

翌日、次の日、次の日と日が経つにつけ、雑草だけが弱り始め、少しずつ枯れ始めました。

こんな現象を見たのは、初めての事であった為、本当にびっくりしました。

これを機会に、農業について興味を覚え、少しずつ農業について勉強し始めました。

そうしている間に、これを取り扱う為に、毒物劇物取扱者試験と言うものがある事を知り、早速、その資格を取ろうとチャレンジしてみました。

そして、運よく合格する事が出来ました。

その話を近所の農家の人にしたら、早速、「それでは、農薬屋をやってみろ」と言う話が起き、どこの会社に勤めた経験が一度もなく、怖いもの知らず、世間知らずの私が、生意気ながら、「農薬屋をやってみよう」と言う気が起き、これには、色々な人の力を借りなければいけないと言うことで、高校の同窓会名簿を1ページ目から、しっかり見て、当時も、今も有名な農薬メーカーにお勤めでいらっしゃった大先輩に手紙を書きました。

早速、その方より電話を頂き、会社の営業マンの方と、その会社の千葉県の代理店の会社の専務さんが、一緒に私を訪ねて来てくれました。

親にも、許しを得てやった訳でもなかったので、私には1銭も自由に使えるお金が無く困っていましたが、幸いにも、その代理店の専務さんのご厚意で、この毒物劇物合格証を担保として、3か月先に支払うと言うお約束で商品を卸して頂きました。

これで、農薬の仕入れは出来ましたので、私は、この分けて頂いた農薬のパフレットを持って、地下足袋姿で自転車に乗って近隣の町村も含めて、近くの農家に1軒ずつ、配達して回りました。

おかげさまで、少しずつ、お客も増え、仕入先や仕入れる商品も農薬以外も取り扱えるように従い、お客様の開拓も、この地域だけでなく、千葉県中に広がって行き、徐々に軌道に乗るようになりました。

今、弊社が存在できているのは、この文中に記載させて頂いていた以外にも、沢山の方々のご協力や援助があったおかげです。

この事を決して忘れず、常に多くの人に感謝の気持ちを持って、今後も、頑張りたいと思います。

宜しく、お願いします。

創業当時の名称（イシイ園芸サービス）

平成元年4月14日より株式会社アイ・エイチ・エスに名称変更

令和6年4月現在、株式会社アイ・エイチ・エス

代表取締役 石井一孝